

長生きしろよと息子からいわれた。

4Sクラブはサポセンの専属シニアボランティア  
主にサポセンのイベントをお手伝いしております。

「すびー！」

「お若いですねー」

若い子たちにおだてられるのもわるくありません。

「これ配っておいてー」

「運ぶの手伝ってくださーい」

だれかに必要とされることは、なんだか  
んだいって、やっぱりいいものです。

先日、4Sクラブのメンバーのひとりが俳句  
の専門家とうかがい、みんなで「俳句会」を開  
いてみました。

若いころは俳句なんてどこがおもしろいのか  
と気にもとめておりませんでしたが、面白いも  
のです。勉強したいという気分が沸いてくる。  
この歳になってそんな気分になるなんて誰が想  
像したでしょう。

4Sの みんなといっしょに 若がえる

花見もやります。





# 4Sクラブ主催 市民活動体験話を聞く会

過去7回の講演をふりかえってみましょう

## いままでの いきいき市民塾

のたろんも毎回たのしみにしています!

次回

12月15日(日)

14:30 ~ 16:30



会場：横須賀市立  
市民活動サポートセンター  
ミーティングコーナー

2018年

第1回

3月  
5日(月)

佐久間 則夫さん(秋水史料研「秋水プロジェクト」)  
太平洋戦争中に作られた日本の戦闘機「秋水」など  
戦時歴史遺産のお話

高橋 弘二さん(横須賀「水と環境」研究会)  
横須賀市には川やため池、湧き水がたくさんあります  
今回は主に川の紹介と水に関するお話

加藤 努さん(横須賀インディアカ協会)  
ニュースポーツのインディアカで、  
会員の健康づくりと親睦、組織づくりのお話

塚田 憲司さん(中島三郎助と遊ぶ会)  
浦賀出身の幕末の志士、中島三郎助との出会い  
話など幅広い活動のお話

日置 正次さん(横須賀俳句協会)  
だれでも簡単に取り組める俳句  
季節のさまざまな移り変わりが楽しめる感性を

大橋 祥宏さん(横須賀学の会)  
横須賀ってどんな都市? '学びとあそびの観点から  
横須賀を探求してみよう

山本 洋志さん(横須賀古地図くらぶ)  
古地図を使って昔の横須賀の歴史を探ります  
懐かしい古きよき時代にタイムトリップ

柏木 正昭さん(そば遊友)  
「日本そば」のお話し。'そば打ち'の極意や  
メンバー交流のお話

山崎 省二さん(神奈川・横須賀プロバスクラブ)  
日本特有の製法で醸造された酒  
「日本酒」について深くほりさげお話し

天田 晴基さん(神奈川・横須賀プロバスクラブ)  
日本の伝統芸能「能」のお話し  
よりいっそう楽しく鑑賞することのできる方法も

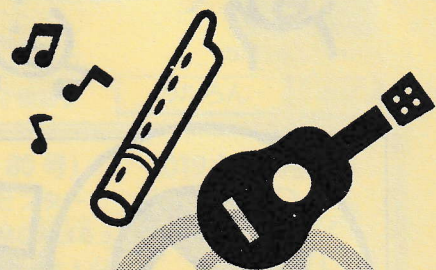
鈴木 孝雄さん(NPO 法人よこすかシティガイド協会)  
横須賀市の豊かな自然・文化・歴史を、  
市民や観光客に広めるお話

桑原 積さん(演奏を楽しむ会)  
オカリナ・ギター・ウクレレ・尺八の演奏  
施設への慰問など、福祉に関するお話

青木 厚美さん(三浦半島活断層調査会)  
三浦半島の断層・地層・地形の調査研究  
必ず起きる地震にそなえる減災のお話

原 仁志さん(横須賀市シルバー人材センター)  
会社引退後、余暇時間を有意義に活用できる  
事例をたくさんご紹介

白石 健一さん(認知症予防プログラム)  
健康で、しっかり生きるためのノウハウのお話



第1回

第2回

第3回

第4回

2019年

第5回

第6回

第7回

6月  
5日(火)

9月  
5日(水)

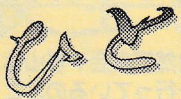
12月  
5日(水)

3月  
17日(日)

6月  
16日(日)

9月  
15日(日)





飄々とした中にも、どこかあたたかい眼差し。理路整然と明るく話す、パソコンお助けネットワークよこすか (PON) 代表の本間さんにお話を伺った。

昭和13年横須賀生まれ。父が海軍軍人だったため、佐世保、舞鶴と転居し、終戦のとき、父の実家があった新潟に疎開していた。

小学校入学では、革靴、革のランドセルの洋服姿で、同級生にからかわれた。それでも後に、村のガキ大将となり、川に行ってフナを獲ったり悪さをしたり、6年間を新潟で過ごした。

中学1年で横須賀に戻ってきた。朝鮮戦争の時代で、どぶ板通りはたくさんの米兵で賑わっていた。輪タクが走り、毎日喧嘩があってMP(憲兵)が目を光らせていた。親戚から、アルバイトにと、ゴム草履を譲ってもらって一足360円くらいで売ったことを覚えているという。

進学校に進もうか悩んだが、手に職を付けたいと、県立横須賀工業高校に進む。英語や材料力学の先生に影響を受け、二浪して大学の工学部に進学した。

大学では、ロケットの熱の研究をしていた先生につき、伝熱を学んだ。伝熱と材料工学は、基本になる方程式が似ていて、順調なスタートができた。大学卒業後、伝熱の知識を生かし技術者の道に進む、日本ラヂエーター(株)(現カルソニックカンセイ)に就職。研究開発に勤しんだ。

その頃の経験が今でも役に立っている。「困難につきあたってるときに、じっと我慢しながら、ひとつひとつ積み重ねていくと不思議なもので、大体のことは解決する」という。

そして、設計子会社の役員として設立の中心になり、

10年間の佐野市への単身赴任を経て退職。

「大学卒業して家から東京の仕事に通っていたものだから、30年以上

横須賀を素通りしてきて、横須賀のことは全然わからない。これではいけないな」と思い、パソコンのボランティアなど、やれることはないかなと、パソコン教室を開くPCFAという会社に、話をしたところ、うちに来いと言われた。

その頃、市民活動サポートセンターが設立され、そこに、PCFAがパソコンを持ち込んで応募した生徒さんにボランティアで教えることとなる。1年後、PCFAが撤退、パソコンお助けネットワークよこすか(PON)がパソコンのサポート活動を始めるとき、その趣旨に賛同して活動に参加。この10年は代表をつとめる。

本間さんに、これからやってみたいことを聞いた。既にスタートしているのだが、俳句写真(俳句と写真をあわせた作品をつくる)、30年来のテニス、ゴルフを85歳くらいまで続けられればよい。それでも、80、90歳の人を受け入れてくれる仲間がいないと続けられない。「仲間がいに溶け込むか、いままでのいろいろ経験ですね。」

そして、パソコンの活動は、代表を降りたとしても、生ある限りやりたいと思うという。「人と接することが、何よりすばらしい。子供の頃から、出会いに恵まれた。今でも、出会いを大切にしています。」

(はこざき)



## 団体紹介

団体名 **パソコンお助けネットワークよこすか (PON)**

活動内容 市民一人一人が安心して情報化機器(パソコン)やネットワークを身近な道具として使い、心豊かな暮らしができるよう支援すると共に技術・能力を身につける講習・研修会などを開催し、地域社会に貢献しています。主な活動場所は、市民活動サポートセンター、生涯学習センター。2000年に設立された当団体は、2020年に設立20周年を迎えます。







ぬまちゃん！今日もサポセンに来たから利用票を書くところなんだけど、また分からないのがあるの「農山漁村または中山間地域」っていうのは何？



そうねえ、農山漁村または中山間地域の振興を図る活動って言えばイメージしやすいかしら。農山漁村っていうのは、農業・漁業・林業体験の企画運営、就農支援活動とかね。



あつ！夏の農業体験とか夏休みにやっていたね！あれがぁ。  
よこすかシーサイドマラソンの時に、横須賀産のキャベツスープを売っていたのも横須賀の農業の振興を図ることに入りそうだ！



うんうん、地産地消の活動も農山漁村地域の活性化につながるものね。あとは中山間地域っていうのは、いわゆる「里山」のことね。田畑・水路・ため池・雑木林と集落が一体になった地域の事で、自然と人の暮らしが共存しているような場所をイメージすると分かりやすいわね。



わかるー！田んぼがあつて畑があつて、トンボとかメダカとかカエルとかが居て！のたろんそういう場所大好き！



横須賀市でも水田の再生や維持管理、自然観察会や里山体験イベントの開催、生態系の調査などを行っているの。こういう活動が中山間地域の活動に該当します。



なんとなくイメージできた！その土地ごとの自然を大事にして生活していこう～！って感じのものが入りそうだね！



横須賀で盛んに行われている「農福連携」も、福祉の分野とこの分野と両方の意味合いのある活動ってことになるんじゃないかな。



のーふくれんけい？って何ー？



障がいがある人が農作業に就くことで、人手不足に悩む農家さんと就労機会になかなか恵まれない障がい者が一緒になって、元気に暮らしていける地域づくりを目指す農業と福祉分野が連携する活動のことよ。



なるほど！それは農村の地域の振興を図る活動に入りそうだね！ のたろんも右手に横須賀の野菜、左手に横須賀の魚を持って、横須賀の食べ物は美味しいな～って言いながらお散歩して、この分野に丸つけることにする！



それはまた、シュールね…。

甘党錦鯉

第3話

とうだいもとくらし？

バスを降りて細い坂道を登りきり、視界が開ける。目の前にあるのは…お寺。

「いやいやいや、錦鯉はどうした？」と思った皆様、焦らないでいただきたい。今回の舞台はここ、曹源寺である。バス停の名前といえばピンとくる方もおられるのではないだろうか。

筆者も最近知ったのだが、ここ曹源寺には中庭に大きな池があり、そこに大小合わせて50匹ほどの錦鯉が泳ぎ回っている。聞くところによると、前任の住職さんは錦鯉の愛好家だったらしく全日本錦鯉振興会主催の錦鯉品評会で「種別日本一賞」を受賞したほどの方だったそう。住職さんに一度お話を聞いてみたかったなあ…錦鯉のこと。

こんなことを言っていると「罰当たりな！」とか言われそうだが、そう思わせるほど素晴らしいので仕方がない。泳いでいる錦鯉は体長が1メートルくらいあるものもいて悠然と泳いでいる姿を眺めているだけでご飯が3杯…もとい、お団子10本くらいいけそうである。池の周りには滝があったり松が植えてあったりと雰囲気も良く、そこから吹き込んでくる風も涼しくて心地よい。よもやこんな近くに筆者が理想とする錦鯉観賞スポットがあったとは…ご興味のある方はぜひ一度足を運んでみていただきたい。

筆者にとつては池づくりのお手本である。今後もお邪魔にならない程度に足しげく通いたい。お寺のご厚意で錦鯉が泳ぐ姿を写真に撮らせていただいている。詳しくは…ウェブで。

「庭に池を掘る！」筆者のあくなき挑戦の日々は、まだまだ続く。

(小串滋彦)

サポセンtopics トピックス

祝 20th anniversary 感謝祭

サポセン20周年記念

11月3日 (日曜日)

第一部 10:00-11:45  
会場：サポセン

第二部 12:30-14:30  
会場：産業交流プラザ

ワークショップと  
交流会をおこないます！  
ぜひお越しください。



のたろんがお送りする「のたろんジャーナル」



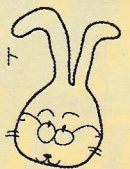
のたろんジャーナル

- ◆サポセン発信情報
- ◆Eメール info@yokosuka-supportcenter.jp
- ◆サポートセンターのホームページ

「のたろん Web」は「のたろん」で検索♪

のたろん 検索

情報誌「のたろん」秋号 (通巻 80 号) 2019年 10月 1日  
 発行 横須賀市立市民活動サポートセンター  
 編集 指定管理者 特定非営利活動法人 YMC A コミュニティサポート  
 横須賀市本町 3-27 (京浜急行 汐入駅 徒歩 1分)  
 TEL 046-828-3130  
 FAX 046-828-3132  
 市民活動サポートセンターは、市民活動、ボランティア活動の打合せや作業、情報収集を行なう施設です。ご利用の際は受付にて利用票のご記入をお願いします。



編集ボランティア / はこぎき・みずたに・おぐし  
スタッフ / ぬまさき・のぎむら